



令和 7 年 4 月 25 日

（あて先）白山市議会議長

議員氏名 山本 佳裕



令和6年度政務活動費収支報告について

白山市議会政務活動費の交付等に関する条例第6条の規定により、次のとおり収支報告します。

1 収入

政務活動費 720,000 円

2 支出

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	144,434円	ジオパーク全国大会ほか
研 修 費	143,455円	全国地方議会サミットほか
広 報 費	48,708円	
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費	6,000円	白山市国際交流協会ほか
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	188,220円	新聞等購読
人 件 費		
事 務 所 費		
会 派 共 用 費		
そ の 他 の 経 費	40,414円	事務用品、タブレット通信料
合 計	571,231円	

3 残額

148,769 円

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	山本 佳裕	令和 6 年度	No. 1
支出項目	☒ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	令和 6 年 7 月 2 2 日～令和 6 年 9 月 1 日	92,842円	
2	令和 7 年 3 月 2 8 日～令和 7 年 3 月 3 1 日	51,592円	
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
合 計		144,434円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☒ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	1
実施年月日	令和6年 8月 30日(金)～令和6年 9月 1日(日)
使途内容	調査研究：第14回日本ジオパーク全国大会 下北大会参加 下北ジオパーク ビジターセンター視察 出席者：山本、中野、池元、上田 経費内訳：大会参加費 5,000円 経費内訳：往復交通費及び宿泊代 80,285円 食事代 3,000円 現地交通費（レンタカーほか） 3,287円 雑費（手数料、小松空港駐車場代） 1,270円 92,842円 /
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 山本 佳裕



支 出 項 目	☒ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日 程	令和 7 年 8 月 30 日 (金) ～ 令和 7 年 9 月 1 日 (日)
場 所	下北文化会館、しもきた克雪ドーム、プラザホテルむつ
相 手 方	第14回日本ジオパーク全国大会 下北大会 実行委員会
参加議員氏名	山本佳裕、中野進、池元勝、上田良治
目的・内容・成果等	(目 的) 1. 第14回日本ジオパーク全国大会 下北大会への参加 2. 下北ジオパーク ビジターセンターの視察
	(内 容) 1. 開会式、基調講演、各地ジオパークの口頭発表会や学生も参加したポスター発表会を視察と意見交換を行った。 2. センターの視察と公認ガイドの説明と意見交換を行った
	(成果等) 各地様々なジオパークを活用した活動を行っていることを改めて感じた。自然が作り出すそのものを地域の宝としてどう取り込んでいくか、昔からそこにあり当たり前を感じている市民に対しどう伝えるのか手法やきっかけになる事例をみて自身でも取り組めないか検討する。ビジターセンターの整備や公認ガイドの養成は喫緊の課題である。ジオパーク自体の計画など必要なのではないかと改めて感じる。本市においても学校教育に力を注ぐ予定だが、中高生の調べ学習や口頭発表会など地域を調べてプレゼンするこういった機会をもっと本市でも外部にむけて発信すべきと感じました

支払調書

支出項目	☒ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	2
実施年月日	令和7年 3月 30日(日)～令和7年 3月 31日(月)
使途内容	調査研究：川崎SPARK 視察、意見交換 経済産業省、総務省官僚 事業のレクチャー 出席者：山本、池元(2名) 経費内訳：往復交通費及び宿泊代 47,550円／ 食事代 1,500円／ 手土産代 1,772円(3,545円を2人で按分) - 雑費(振込手数料) 770円／ 51,592円／
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 山本 佳裕



支出項目	☒ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日程	令和 7 年 3 月 30 日 (日) ~ 令和 7 年 3 月 31 日 (月)
場所	1. 川崎SPARK 2. 参議院議員会館
相手方	1. DeNAスポーツ・スマートシティ事業本部 川崎拠点開発室 松本紘樹氏 2. 経済産業省 商務・サービスグループ文化創造産業課 課長補佐 中村純典氏 内閣府 地方創生推進事務局 佐藤弘康参事官補佐
参加議員氏名	山本佳裕、池元勝
目的・内容・成果等	(目的) 1. 遊休地活用による地域活性化とアーバンスポーツとの融合した取り組みについて現場視察と意見交換 2. 産業観光のこれからについての意見交換 地方創生交付金のこれからについての意見交換
	(内容) 1. 跡地となる川崎モータープール跡地は数年後にアリーナ建設が予定されているが、その間の遊休地の活用が課題だった。全国的に注目を浴びているアーバンスポーツが川崎でも機運がたかまりつつあり、そこで建設までの間にアーバンスポーツと広場機能を持たせた川崎SPARKに至った経緯と本市でも跡地の課題があるためその可能性はあるのか等についての意見交換を行った。 2. 産業観光を推進するための先進事例や成功事例のヒアリングを行い、今後の産業観光のあり方を意見交換をした。もう一つ、デジタル田園都市国家構想交付金が深化する報道中で、これまでの活用事例や白山市で取り組まれていることのレクチャーとこれからの活用方法についての意見交換を行った
	(成果等) 1. 白山市でも行えることは可能だが予算や手法について大きく課題があった。機運という点でも個々で楽しむ方は見られるが、団体といった形での成熟は見られずそこへのテコ入れも必要なのではと感じた。アーバンスポーツと広場機能を合わせた公共の場所は本市でもまだないため、市民にも問いかけながら高めていきたい。金沢総合車両所松任本所跡地のこれからは白山市の喫緊課題であり有用な方向性を持てるようになった 2. 観光地よりも工業団地が多い本市では稀有な産業もあり、近年は産業観光としての価値を高める自治体も多い。少しでも国の後押しを願ったが、小規模事業者などの補助金が主の説明であったが、事例のヒアリングで観光への道筋は地元就職にもつながる可能性があると感じ、商工会議所等と相談して良い道を探りたい。地方創生のテコ入れがこれからであり、新しい施策はなかったが、今ある事業やこれから取り組む事業に柔軟な交付金でもあるため、地方自治体のやる気をどう喚起できるかが課題と感じた

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	山本 佳裕	令和 6 年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	令和6年5月16日～令和6年5月31日	59,922円	
2	令和6年4月25日～令和6年7月12日	79,248円	
3	令和 6 年 9 月 5 日	4,285円	
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
合 計		143,455円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費												
整理番号 (項目別)	1												
実施年月日	令和6年5月30日(木)～令和6年5月31日(金)												
使途内容	研修：第16回2024年度日本自治創造学会 研究大会 会場：明治大学アカデミーコモン棟 アカデミーホール 出席者：中野、池元、上田、山本 経費内訳 <table> <tr> <td>セミナー受講料</td> <td>15,000円</td> </tr> <tr> <td>往復交通費及び宿泊代</td> <td>39,700円</td> </tr> <tr> <td>食費</td> <td>3,812円</td> </tr> <tr> <td>往復交通費(IR)</td> <td>540円</td> </tr> <tr> <td>雑費(振込手数料・宿泊税)</td> <td>870円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>59,922円</td> </tr> </table>	セミナー受講料	15,000円	往復交通費及び宿泊代	39,700円	食費	3,812円	往復交通費(IR)	540円	雑費(振込手数料・宿泊税)	870円	計	59,922円
セミナー受講料	15,000円												
往復交通費及び宿泊代	39,700円												
食費	3,812円												
往復交通費(IR)	540円												
雑費(振込手数料・宿泊税)	870円												
計	59,922円												
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 <table> <tr> <td>支出額</td> <td>按分率</td> <td>政務活動費相当額</td> </tr> <tr> <td>_____円</td> <td>× (/)</td> <td>= _____円</td> </tr> </table> 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____円	支出額	按分率	政務活動費相当額	_____円	× (/)	= _____円						
支出額	按分率	政務活動費相当額											
_____円	× (/)	= _____円											

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 山本 佳裕



支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日 程	令和 6 年 5 月 30 日 (木) ～ 令和 6 年 5 月 31 日 (金)
場 所	明治大学アカデミーコモン棟 アカデミーホール
相 手 方	(一社)日本自治創造学会
参加議員氏名	中野進、池元勝、上田良治、山本佳裕
目的・内容・成果等	(目 的) 自治体の首長、職員、市民、研究者を加えて地域に根ざした実践的な研究および会員相互の交流を通じて、地域主権国家にふさわしい自立・自律的な地方自治を創造することを目的とする。
	(内 容) ①講演 DX時代の日本の原動力を考える 益 一哉氏 ②講演 社会インフラ管理の重要性と人材育成 石川 雄章氏 ③事例発表 埼玉県議会 ④自治体事例発表 教育と音楽とスポーツの個性あるまちづくり 清水 聖義氏 スマートシティの新たな挑戦 宮元 陸氏 ひとまち未来が輝き 世界につながるまち」を目指して中村 一郎氏 ⑤講演 地域の活性化と組織の自立と連携 渡部 晶氏 ⑥出生率2.95人口維持のまちづくり 奥 正規氏 ⑦パネルディスカッション 自治力を高めるためには
	(成果等) DXやICT化は昨今のトレンドだが、地方自治体として取り組んでいる施策を学びました。条例を議会発信することで市民に政治や議会への関心を高めれることを学ぶ。自治体の長として人口や地域の活性化を議会と一緒にやって取り組むこと。県や国を待っている人口減少や、歳入を上げる施策はなかなかできないということを学ぶ。各地のシティプロモーションが長けていることで魅力がしっかりと理解できた。本市でも同様に必要な事であることを学ぶ

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	2
実施年月日	令和6年7月10日(水)～令和6年7月12日(金)
使途内容	研修：①全国地方議会サミット2024 ②衆議院会館 国土交通省官僚レクチャー 会場：①早稲田大学 ②衆議院第二会館 出席者：藤田、西川、石地、吉本、中野、池元、山本 経費 セミナー受講料 11,000円/ 往復交通費及び宿泊代 58,860円/ 食費 6,373円/ 現地交通費 2,060円/ 雑費(振込料、ロッカー) 955円/ 計 79,248円/
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____円 × (/) = _____円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 山本 佳裕



支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費
日程	令和 6 年 7 月 10 日 (水) ~ 令和 6 年 7 月 12 日 (金)
場所	早稲田大学 衆議院第2会館
相手方	ローカルマニフェスト推進連盟 早稲田大学マニフェスト研究所 国土交通省 都市局 市街地整備課 松村知樹企画専門官 藤木優加子係長
参加議員氏名	山本佳裕, 藤田政樹, 石地宜一, 吉本史宏, 中野進, 池元勝
目的・内容・成果等	(目 的) 全国地方議会サミット2024 都市構造再編集中支援事業のレクチャー
	(内 容) ①基調講演「生活を支える強い地域をぎかいがつくる」②能登半島地震被災地の議会からの報告③熊本地震の経験と自治体間支援の現場から④能登半島地震と珠洲市の状況と対応⑤防災DXの最前線と今後の展開⑥災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性⑦東日本大震災の経験から⑧非常事態への備えと議会の対応・役割⑨東日本大震災の経験をふまえた災害対応⑩デジタル生成AIを活かす⑪議会改革の軌跡と展望、議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携 国交省より都市構造再編集中支援事業の補助内容と本市に関連する事例レクチャー
	(成果等) 能登半島地震からの復興についての市の取るべき施策や議会はどうあるべきかを基軸に現場の自治体、先進事例の活用方法を学ぶ。半島という特性からも道路インフラの復旧がなければ前に進まない現状を再確認。様々な災害から変わってきた国の補助や援助の状況を確認。国の施工による災害後の復旧が安全第一になっていても必ずしも地元が望んでいた復興の形ではなく、その時議会がどうかかわるべきだったのかという苦悩が平時より災害も視野に入れたまちづくりであったり、広い知見が必要であることを再認識した。衛星やドローンなど目視や現地での確認をするマンパワーや技術者が少なくなるこれからの地方自治体には欠かせないツールであると理解。TBKとくにトイレトレーラーについては各自治体が少しずつ所有できると、いざまさかの時の対応に強くなる。 国交省のヒアリングではコンパクトシティのあり方の一つと認識し、島集落や市内に駅が5つある本市での今後の取り組み方への学びになった

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	3
実施年月日	令和6年 9月 5日 (木)
使途内容	研修：白山・手取川扇状地における地下水特徴について 講師 准教授 藤原洋一氏 石川家県立大学生物資源環境学部 環境学科地域環境係 出席者 山本、藤田、西川、石地、吉本、中野、池元 経費 講師費 4, 2 8 5 円 (30,000円を参加者7人で按分) 合計 4, 2 8 5 円 /
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 山本 佳裕



支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費	
日 程	令和 6 年 9 月 5 日 (木)	
場 所	白山市議会 6F 第1会議室	
相 手 方	石川県立大学 生物資源環境学部 環境学科地域環境係 准教授 藤原洋一氏 (農学博士)	
参加議員氏名	山本佳裕、藤田政樹、西川寿夫、石地宜一、吉本史宏、中野進、池元勝	
目的・内容・ 成果等	(目 的) 白山・手取川扇状地における地下水の特徴について 講義	
	(内 容) 白山から手取川を通して日本海まで流れる水の動き量など。雪や雨の量によりどのくらいの変化があるのか。地下水位との関係。田畑に流れる水のからの浸透が地下水にもたらす影響など。能登半島 地盤における地盤沈下や液状化などに対する考察。	
	(成果等) 手取川扇状地の地下水は河川からの浸透が4割、水田が3割、その他3割だと推察されるところ。白山市の水田には県内で必要な砂利を取るおかげで地下水に影響があるのかと懸念があったが、砂利層の深さは場所によるが、相当深く現状はそんなでもないのかもしれないと理解した。衛星のデータを活用し手取川扇状地内の変化を調べたがほとんど変化がなく、強固な地盤であることの証明となったことを再確認した。また、水の重い、軽いという特別な指針を使い県内近郊地下水を調べることによりその水が手取川由来かどうかを調べることができるそう。まさに手取川を通じて流れる水は石川県の命の水であり、白山手取川ジオパークでも重要な水のことを改めて理解する機会となった。	

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	山本 佳裕	令和 6 年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☒ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	令和6年12月31日～令和7年3月31日	48,708円	
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
合 計		48,708円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☒ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	1
実施年月日	令和7年 1月 1日(水)～令和7年 3月 31日(月)
使途内容	経費 ボネクタ初期費用 29,700円(33,000円のうち29,700円を計上) 1月から3月分の管理費 19,008円(月額7,040円のうち6,336円を3か月分計上) 合計 48,708円
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 山本 佳裕



支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☒ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 研修費 ☐ 広聴費 ☐ 会議費	
日 程	令和 7 年 1 月 1 日 (水) ~	令和 7 年 3 月 31 日 (月)
場 所		
相 手 方	イチニ㈱	
参加議員氏名		
目的・内容・ 成果等	(目 的) 議員活動や市政の状況を伝えるため	
	(内 容) ①ウェブサイトでのホームページ活動報告のページの運用 ②運営会社が議員向けのwebセミナーの開設による講座 ③全国の議事録検索による調査研究	
	(成果等) HP上で市民に活動を伝えることができ、意見の集約につながった。また、サイト内で調査したい他市のことや最新の制度やトピックスも知ることができた	

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	山本 佳裕	令和6年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☒ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	令和6年8月5日～令和6年10月7日	6,000円	
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
合 計		6,000円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☒ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	1
実施年月日	令和6年 4月 1日 (月) ~ 令和 7年 3月 31日 (月)
使途内容	白山市国際交流協会 令和6年度会費 1,000円 石川中央都市圏議会連絡会行政課題研究会意見交換交流会会費 5,000円 合計6,000円
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 10,000円 × (1 / 2) = 5,000円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動計画書・報告書

議員氏名 山本 佳裕



支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 研修費 ☐ 広聴費 ☒ 会議費
日 程	令和 6 年 4 月 1 日 (月) ~ 令和 7 年 3 月 31 日 (月)
場 所	
相 手 方	白山市国際交流協会、石川中央都市圏議会連絡会
参加議員氏名	
目的・内容・成果等	(目 的) 市政発展に反映できるよう各種団体との意見交換を行う 情報交換や国際交流を行い議員としての見識を深める
	(内 容) 総会、研究会、イベント等、に参加し講義の聴講や交流や意見交換を行う。
	(成果等) 議員として認識、知識を深めることができ、意見交換から今後の市政への課題を頂く

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	山本 佳裕	令和 6 年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	令和 6 年 4 月 2 5 日～令和 7 年 3 月 2 8 日	139,500円	新聞
2	令和 7 年 3 月 2 8 日	9,450円	アクトス
3	令和 7 年 3 月 2 8 日	39,270円	白山市地図
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
合 計		188,220円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	1
実施年月日	令和 6年 4月 1日 (月) ～ 令和 7年 3月 31日 (月)
使途内容	新聞購入費 北陸中日新聞 (4月～3月) 39,600円 / 日本経済新聞 (4月～3月) 57,600円 / 北國新聞 (4月～3月) 42,300円 / 139,500円 /
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	2
実施年月日	令和 6 年 4 月 1 日 (土) ~ 令和 7 年 3 月 3 1 日 (日)
使途内容	北國アクタス購読料 (5月号~4月号) 9, 4 5 0 円 (振込手数料550円含む) 9, 4 5 0 円
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☐ その他の経費
整理番号 (項目別)	3
実施年月日	令和6年12月13日(金)
使途内容	書籍購入費 ・ 白山市・川北町住宅地図(地籍版) 39,270円(振込手数料含む) 計 39,270円
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

政務活動費項目別集計表

(単位：円)

議員氏名	山本 佳裕	令和 6年度	No. 1
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 人件費 ☒ その他の経費		
整理番号	支 出 年 月 日	支 出 金 額	備 考
1	令和6年5月5日～令和7年3月30日	28,864円	プリンターインクなど
2	令和6年5月21日～令和7年4月21日	11,550円	タブレット端末通信料
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	令和 年 月 日		
	合 計	40,414円	

※支出項目ごとにまとめ、表紙として提出してください。

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☒ その他の経費
整理番号 (項目別)	1
実施年月日	令和6年 5月 5日(日)～令和6年3月30日(日)
	事務用品等
使途内容	プリンターインクカートリッジ 13,970円 ✓ 文具類 14,894円 ✓ 計 28,864円 ✓
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 支出額 按分率 政務活動費相当額 _____ 円 × (/) = _____ 円 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 _____ 円

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。

様式2

支払調書

支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 会派共用費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費 ☒ その他の経費						
整理番号 (項目別)							
実施年月日	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日						
使途内容	タブレット型端末機通信料 11,550円 ※領収書の原本は議会事務局に保管 【通信料負担内訳】 市より貸与されたタブレット型端末通信料は、公費負担分1/2、政務活動分1/4、政務活動以外の議員活動分1/4と按分して支出 ○タブレット型端末機通信料 (R6年4月～R7年3月) 46,200円/人 市負担分 $46,200円 \times 1/2 = 23,100円$ 議員負担分 $46,200円 \times 1/2 = 23,100円$ { 政務活動分 $23,100円 \times 1/2 = 11,550円$ 政務活動以外の議員活動分 $23,100円 \times 1/2 = 11,550円$ }						
領収書記載金額の一部を計上する場合	【按分による支出】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">支出額</td> <td style="text-align: center;">按分率</td> <td style="text-align: right;">政務活動費相当額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;"><u>23,100円</u></td> <td style="text-align: center;">$\times (-1/2)$</td> <td style="text-align: right;"><u>= 11,550円</u></td> </tr> </table> 【一部充当】 政務活動費の一部充当額 <u> </u> 円	支出額	按分率	政務活動費相当額	<u>23,100円</u>	$\times (-1/2)$	<u>= 11,550円</u>
支出額	按分率	政務活動費相当額					
<u>23,100円</u>	$\times (-1/2)$	<u>= 11,550円</u>					

※使途内容は、「調査研究費」の場合は、出張期間、調査先、調査内容等、「研修費」の場合は、開催年月日、会場、研修内容等、「資料作成費」「資料購入費」の場合は、資料名など内容等を具体的に記入してください。